

平成29年度 大阪府立光陽支援学校
第一回学校協議会 記録

1. 日時 平成29年6月22日(木) 10:00~11:00

2. 大阪府立光陽支援学校 校長室

3. 次第

(1) 開会(校長挨拶、会長選任及び挨拶、自己紹介)

(2) 協議

①学校協議会実施要項及び傍聴要項について

②学校経営計画および学校評価について

(3) 閉会(校長挨拶、会長挨拶)

4. 協議内容

(1) 学校協議会実施要項及び傍聴要項について

・昨年度作成したものを今年度も同様に実施する。

(2) 本年度の取り組み内容説明

①スパイダーについて

・マニュアルについては他校からいただいた資料を参考に作成。実践についてはwiiをしたり野球をしたり、楽しみながら主体的にできる活動を考えている。

②視線入力ソフトを導入している。

③運動会について

・5月とはいえ、今年度は大変暑かったので開催方法を検討中。

④地域支援について

・気軽に相談できるよう常にパンフレットを配布している。

・交流及び共同学習について、複数の学校との間で年間を通じた計画的な交流を実施している。

⑤病弱教育リーフレットを大阪市内の病院や小中学校に配布している。

⑥学校経営会議を月2回に増やし実施している。

(3) 質疑応答(主な意見や質問と回答)

委員 他校の例で学校が福祉避難所になると話があったが？

委員 旭区としては運営が難しいため実施しないことになった。

委員 現在学校では NO 残業デーを毎週金曜日に実施している。区役所等で水曜日に実施しているところもあると聞くが？

学校 曜日変更について、教職員にアンケートを取り改善していく予定です。

委員 交流教育について、現在高等学校との交流を進めているとのことであるが、小・中・学部も同世代で実施できるとよいのでは？

学校 現在は居住地校交流も行っているが、小学部、中学部も同世代の学校と交流を年に複数回実施しています。

委員 肢体不自由教育と病弱教育を併置する学校としてまとめていくのは大変だと思うが、それぞれの部門の違うところは？

学校 学校運営上、肢体不自由教育と病弱教育は教育課程が違うことに加え、それぞれの生徒についての教育にかかる期間が違います。

委員 教育機器の導入は素晴らしいことだが、「スパイダーありき」などではなく、子どもの実態が最優先になるようにしてほしい。

学校 スパイダーを利用した主体的な活動をするために、先進的な取り組みをしている他校の教職員に来校してもらい、利用方法についていろいろとアドバイスをもらっています。

委員 現在活用している「授業改善点検証シート」が、授業の質を整えるスタンダードツールとなっていくと考えられるので大変良い試みである。

委員 入学式や卒業式に参加して、保護者の視線としては、近年車椅子が立派になっているために自力歩行への取り組みが薄くなっているように感じる。

委員 そのように感じるかもしれないが、子供の主体的な動きと機器（車椅子）の発達は別のことと考えるべきではないか。

学校 高等部は卒業後の進路決定に向けて、行動範囲を広げるために電動車椅子をすすめることがあります。

委員 スパイダーや ICT、車椅子など様々な機器が活用されているが、どれも子どもの実態を優先に考えていく姿勢を忘れないようにすべきである。

学校 研究 PJ（プロジェクト）等、多角的な視点で話し合いながら“機器ありき”にならないよう、取り組んでいきたいと思います。